

## ベネズエラ経済（2012年 12月度）

### 1 経済概要

#### （1）政府の各種政策・統計

- ベネズエラ中央銀行は、2013年GDP成長率を6%、インフレ率を14%から16%と予測している。
- ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、11月のインフレ率が10月の1.7%を0.6ポイント上回る2.3%となった。また、2011年12月からの1年間のインフレ率は18.0%となった。
- ベネズエラは、メルコスールにて設定されている対外共通関税を、2013年には全体の28%、2014年には更に追加的に18%、2015年には同15%、2016年には同36%（累計97%）と段階的に適用する旨合意した。

#### （2）政府予算・財政

- 国会は2013年国家予算案を3,964億ボリバルにて承認した。  
なお、本予算の前提条件として、ベネズエラ産原油輸出価格を1バレル当たり55ドル、原油日当たり生産量を301万バレル（内輸出は日当たり252万バレル）、インフレ率は14%から16%、GDP成長率は6%、為替レートは本年同様の1ドル=4.3ボリバル、財政赤字は対GDP比で3.9%としている。
- 国会によると、2012年の補正予算額は、前年に比し38%増の4,721億ボリバルとなった。

#### （3）石油・天然ガス産業

- 2012年ベネズエラ産原油輸出価格は、前年に比し2.37%増の103.46ドル、原油収入は同4.7%増の922億3,300万ドルとなった。

#### （4）自動車産業

- ベネズエラ自動車会議所（CAVENEZ）によると、2012年11月度の新車販売台数は前月に比し10.3%増の12,087台となり、2012年1月から11月までの同台数は、前年同期比12.5%増の122,360台数となった。

#### （5）その他産業

- 衣料品小売店のGAP社は、同社、及び同社傘下のブランドGAP, Banana Republic, 及びOld Navyの商標登録に関わる承認をベネズエラ知的財産独立行政機関（SAPI）より受けた。

## (6) 外貨発給状況

●中央銀行（BCV）によると、2012年1月1日から12月14日までのCADIVI及びSITMEを通じた外貨発給額は423億3,200万ドルとなった。

## 2 経済の主な動き

### (1) 政府の各種政策・統計

#### ア 2013年経済予測

##### ・中央銀行（BCV）発表GDP成長率・インフレ率予測

ベネズエラ中央銀行は、2013年GDP成長率を6%、インフレ率を14%から16%と予測している。

##### ・ラテン・アメリカ経済委員会によるGDP成長率見通し

ラテン・アメリカ経済委員会（CEPAL）によると、2013年の同成長率については、2.0%と予測している。なお、2012年のGDP経済成長率を5.3%と予測している。

なお、同委員会は2012年9月までの間に、ベネズエラ公的機関による国内債務は60%増加し、対外債務はPDVSAを除き、1,010億ドルとなったと発表した。

(12日付 エル・ユニベルサル紙)

#### イ インフレ率

##### ・11月インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、11月のインフレ率が10月の1.7%を0.6ポイント上回る2.3%となった。また、2011年12月からの1年間のインフレ率は18.0%となった。

なお、2012年1月から11月までのインフレ率は16.0%となったが、これは前年同期の25.4%に比し大きく低下した。

(5日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナシオナル紙)

##### ・食料品累積インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、2011年12月から2012年10月までの食料品の累積インフレ率は、前年同期27%に比し、13.5%となったが、医療分野では20.4%となった。

(1日付 エル・ユニベルサル紙)

##### ・建設業インフレ率

ベネズエラ中央銀行（BCV）によると、2012年11月の建設業インフレ率は2.2%を記録し、直近12カ月累計では17.3%となった。なお、鋼材価格の高騰がインフレ率に影響しており、同11月インフレ率は、2.5%、直近12カ月累計では20.2%を記録している。

(8日付 エル・ユニベルサル紙)

・2012年累積インフレ率見通し

中央銀行(BCV)によると、2012年のインフレ率は19.9%となる見通しを発表した(2012年予算は20%~22%, 前年インフレ率は27.6%)。

(29日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 2012年11月までの基礎食料バスケット価格

国家統計局(INE)によると、2012年11月の基礎食糧バスケット価格は前月に比し2.9%上昇し、2012年11月までの同価格は前年末より14.23%上昇し、989.09ボリバルとなった。

(19日付 エル・ナシオナル紙)

エ 2012年11月失業率

国家統計局(INE)によると、2012年11月の失業率は前年同期に比し0.2ポイント増の6.4%となった。

なお、2012年11月末時点での労働力人口は1,360万2,103人、フォーマルセクター就業者は731万3,064人(就業人口の57.5%), インフォーマルセクター就業者は541万3,882人となった。

(19日付 エル・ユニベルサル紙)

オ 貧困・極貧困層

国家統計局(INE)によると、2012年の貧困層は前年に比し5.3ポイント減の21.2%, 極貧層は同0.5ポイント減の6.5%との予測を発表した。

(28日付エル・ユニベルサル紙)

カ 対米国輸出額

ベネズエラ・米国商工会議所によると、2012年ベネズエラの対米輸出額は過去3年に比し、30.44%増の366億ドルに昇る見通しを発表した。

(13日付 エル・ナシオナル紙)

キ 対コロンビア貿易

・輸入

コロンビア国家統計局(DANE)によると、2012年1月から10月のコロンビアからの輸入額は、前年同期に比し68.3%増の22億9,700万ドルとなった。

(7日付エル・ユニベルサル紙)

・貿易収支

コロンビア税関局によると、ベネズエラ・コロンビア商工会議所の計算に基づく201

2年1月から11月のベネズエラとコロンビアの貿易収支は、前年同期に比し32.9%増の26億8,500万ドルとなった。

なお、2012年1月から11月までのベネズエラの対コロンビア輸入額は、前年同期に比し44.3%増の22億2,200万ドル、同期ベネズエラの対コロンビア輸出額は前年同期に比し3.5%減の46万5,000ドルとなった。

(19日付 エル・ユニベルサル紙)

#### ク 中国との財・サービス貿易額

ベネズエラ通信情報省機関誌によると、2012年の中国との貿易額は、230億ドルに達すると予測される。

(2日付 エル・ナシオナル紙)

#### ケ メルコスール

・トリピエール・ベネズエラ・アルゼンチン商業協議会会頭は、カラカスにメルコスール活動にあたるための事務所を創設すると述べた。

(7日付 エル・ナシオナル紙)

・ベネズエラ加入後のメルコスール域内の経済成長規模、人口はそれぞれ、3.3兆ドル、2億7,500万人と推定され、エクアドル、及びボリビアを加えると同それぞれ、2,500万人、1億ドルの増加が見込まれる。

(7日付 ウルティマス・ノティシアス紙)

・ベネズエラは、メルコスールにて設定されている対外共通関税を、2013年には全体の28%、2014年には更に追加的に18%、2015年には同15%、2016年には同36%(累計97%)と段階的に適用する旨合意した。

他方で、コーヒー、砂糖、油脂、魚類、穀物粉、配合飼料、鳥(肉)、牛(肉)、及びバナナ等のセンシティブな485農業品目については、2018年まで(更に2024年まで延長可能)保護関税策をとる旨の合意にも至った。

(8及び9日付エル・ユニベルサル紙、エル・ナシオナル紙)

#### コ ラ・グアイラ港の近代化

カストロ空輸海運副大臣によると、全長693メートル、両側同時作業が可能となるプラットフォームを建設中のラ・グアイラ港の近代化工事は、現在、33%の工事進捗であり、2014年7月には終了する予定であると、カストロ空輸海運副大臣は述べた。

なお、本工事の調査・請負はベネズエラ、及びキューバ政府による合弁企業(ベネズエラ政府51%、キューバ政府49%)が行っている。

(1日付 エル・ナシオナル紙)

#### サ 住宅ミッション

ラミーレス石油鉱業大臣は、2012年の住宅ミッションによる住宅建設は20万80軒となり、2011年及び2012年の2年間における住宅建設は、35万軒の建設目標に比し99%の達成率となる34万6,718軒となった旨発表した。

(28日付エル・ナシオナル紙)

#### シ 公務員数

国家統計局(INE)によると、2012年10月末時点での同国公務員数は2002年の134万5,674人に比し、246万3,759人となった。

(2日付 エル・ユニベルサル紙)

#### ス 木造家屋の建築

モリーナ住宅大臣は、伝統的な建築手法による建材投入をせず、12日間で棟上げを可能とする工法を用いて、2013年に7,000軒、2015年に27,000軒の木造家屋を建築する旨発表した。

(2日付 エル・ナシオナル紙)

#### セ 過去14年の原油収入の振り分け

オリベロスメトロポリターナ大学教授は、過去14年間の原油収入7,000億ドルの内、60%は輸入、26%は資本の移転、12%は様々な国家基金への積立、そして2%が外貨準備高へ振り分けられていると述べた。

(6日付 エル・ユニベルサル紙)

#### (2) 政府予算・財政

##### ア 2013年度予算

###### ・ 国会による予算承認

国会は2013年国家予算案を3,964億ボリバルにて承認した。同予算のうち76%(2,996億ボリバル)が経常支出である。他方、経常収入としては、3,009億ボリバルを予算化しており、内、831億ボリバルが原油輸出、2,177億ボリバルが原油以外の輸出によるものである。

他方、国会は併せて借款法を1,166億ボリバルにて承認した。

なお、本予算の前提条件として、ベネズエラ産原油輸出価格を1バレル当たり55ドル、原油日当たり生産量を301万バレル(内輸出は日当たり252万バレル)、インフレ率は14%から16%、GDP成長率は6%、為替レートは本年同様の1ドル=4.3ボリバル、財政赤字は対GDP比で3.9%としている。

(5日付 エル・ユニベルサル紙、エル・ナシオナル紙、ウルティマス・ノティシアス紙)

- ・ 公的支出

ジョルダーニ企画財務大臣の2013年国家予算発表によると、2013年の公共機関と地域共同体に対する支出予算額は、790億ボリバル（1ドル＝4.3ボリバルで183億ドル相当）となった。

（18日付 エル・ユニベルサル紙）

## イ 2012年予算

- ・ 国会による臨時予算承認額

国会は2012年1月から11月までの間に、1,736億ボリバルの臨時予算を承認しており、内73%にあたる1,280億ボリバルが労働関連に充てられ、さらにその内の1,170億ボリバルは公務員への報酬に充てられている。

（4日付 エル・ユニベルサル紙）

- ・ 追加融資及び補正予算

国会は2012年に236の追加融資を承認し、融資額は前年に比し26%増の1,743億ボリバルとなった。

また、国会によると、2012年の補正予算額は、前年に比し38%増の4,721億ボリバルとなった。

（18日付 エル・ナシオナル紙）

## ウ 中央銀行による2012年総括

- ・ 外貨準備高

中央銀行（BCV）によると、2012年12月28日時点の外貨準備高は298億8,600万ドル（前年末同残高は298億8,900万ドル）となった。

BCVの外貨収支の内訳は、外貨収入が554億1,300万ドル、内460億8,000万ドルはPDVSAによるもので、外貨支出は563億4,100万ドルとなり、前年に比し14%増となった。

なお、2012年のFONDENへの外貨移転は40億ドルとなった。

（29日付エル・ユニベルサル紙）

- ・ 輸出入額

中央銀行（BCV）によると、2012年の輸出入額は輸出額が前年に比し3.4%増の959億5,200万ドル、輸入額が同20.4%増の563億5,700万ドルとなった。

輸出額内訳は原油収入が前年に比し4.7%増の922億3,300万ドル、非原油収入は同20.5%減の37億1,900万ドルとなった。

他方、輸入額内訳は公的セクターによるものが前年に比し28.3%増の217億5,600万ドル、民間セクターによるものが同15.9%増の346億100万ドルとなっ

た。

(30日付ウルティマス・ノティシアス紙)

#### エ 特別財政基金

- ・2004年から2012年までの運用状況

2004年から2012年までの間、並行支出と銘打った17のメカニズムが創出され、2,280億ドル近い額が運用されている。

(10日付 エル・ユニベルサル紙)

- ・基金内訳

エコアナリティカ社によると、2012年11月末のPDVSA、国庫、FONDEN等のドル建て特別財政基金は、前年同期に比し27.5%減の132億ドルであった。また、ドル建て及びボリバル建て基金総計では、前年同期に比し14.1%減の422億ドル相当となった。

特別基金の内訳は、国庫及びFONDENは前年同期に比し8億ドル減の52億ドル、PDVSAは同31億ドル減の5億ドル、その他基金は同11億ドル減の75億ドルとなった。

(22日付エル・ナシオナル紙)

#### キ 公共融資

国会財政委員会は、公共融資の財務条件を借款法により承認した。JBICと合意した鉄道車両への融資額は8億7,000万ボリバルであり、カラカス近郊鉄道の延長に取り組んでいく。

なお、本プロジェクトはエンクルシハーダからバジェス・デル・トゥーイ間の完成、サン・ファン・デ・ロス・モロスからサン・フェルナンド・デ・アプレを結ぶ路線が含まれている。

(6日付 エル・ナシオナル紙)

### (3) 石油・天然ガス産業

#### ア 対米取引

- ・原油及び石油製品

米国エネルギー省によると、2012年1月から9月の米国からの石油製品輸入量は、前年同期に比し159%増の日量7万バレルとなった。また、9月単月の輸入額は同19万6千バレルであった。

他方で、2012年1月から9月までの米国向け原油輸出量は、前年同期に比し2.2%減の日量平均87万3,000バレルとなった。また、石油製品輸出量を含めると、前年同期比6.3%減の日量平均92万2,000バレルとなった。

(1日付 エル・ユニベルサル紙)

・2012年11月対米原油輸出

米国エネルギー省によると、2012年11月のベネズエラから米国に対する原油輸出口量(暫定)は、前年同期に比し32%増、前月に比し11.7%増の98万9,000バレルとなった。

(20日付 エル・ユニベルサル紙)

イ 2012年PDVSA向け投資額

ゲル・ピノPDVSA副社長は、2012年のPDVSA向け投資額は過去最大額である180億ドルに達すると述べた。

(3日付エル・ユニベルサル紙)

ウ 第162回OPEC定時総会

12日、第162回OPEC定時総会がウィーンで開催され、加盟国は、2013年の目標生産量を日量3,000万バレルに据え置くことで合意した。また、エル・バドリ事務局長の任期を1年間延長することにした。

なお、ベネズエラ政府の報告に基づくOPEC発表によると、11月のベネズエラ原油生産量は日量280万バレルであった。

(13日付 エル・ユニベルサル紙 エル・ナシオナル紙)

エ 2012年原油収入

2012年ベネズエラ産原油輸出価格は、前年に比し2.37%増の103.46ドル、原油収入は同4.7%増の922億3,300万ドルとなった。

(29日付エル・ユニベルサル紙)

(4)自動車産業

ア 2012年11月国内組立(生産)台数

ベネズエラ自動車会議所(CAVENEZ)によると、2012年11月度の国内自動車組立(生産)台数は、前年同月に比し17.55%増の8,984台となり、2012年1月から11月までの累計は、前年同期に比し5.24%増の10万1,069台となった。

(6日付 エル・ユニベルサル紙)

イ 2012年11月までの新車販売・組立(生産)台数

ベネズエラ自動車会議所(CAVENEZ)によると、2012年11月度の新車販売台数は前月に比し10.3%増の12,087台となり、2012年1月から11月まで



の同台数は、前年同期比12.5%増の122,360台数となった。なお、本台数増加には輸入車台数増加が寄与しており、2012年1月から11月までの輸入台数は、前年同期に比し58%増の21,751台となった。

(8日付 エル・ユニベルサル紙)

#### (5) その他産業

##### ア アジャカ材料費の高騰

エル・ユニベルサル紙調査によると、ベネズエラのクリスマス伝統料理であるアジャカの材料費は、前年に比し16.2%の増加となった。

(2日付 エル・ユニベルサル紙)

##### イ 国内旅行チケット販売

観光協会によると、12月の国内旅行チケット販売は、前年同期に比し49%増となった。他方、海外旅行チケットは前年と同様の傾向で27%増となった。

(11日付 エル・ナシオナル紙)

##### ウ GAP社による商標登録

衣料品小売店のGAP社は、同社、及び同社傘下のブランドGAP, Banana Republic, 及びOld Navyの商標登録に関わる承認をベネズエラ知的財産独立行政機関(SAPI)より受けた。

GAP社法務担当者によると、短期間でのベネズエラ出店計画はないものの、パナマや中国を中心にGAPブランドのタグを付けた製品がベネズエラへ輸出されている現状に歯止めを掛ける意図があると述べた。

(19日付 エル・ナシオナル紙)

#### (6) 外貨発給状況

##### ア 外貨割当額

###### ・2012年1月から10月までの外貨割当額

ベネズエラ外貨管理委員会(CADIVI)によると、2012年1月から10月までの外貨割当額は、前年同期に比し4%増の213億3,200万ドルとなった。

(1日付 エル・ユニベルサル紙)

###### ・2012年1月から11月までの外貨割当額

ベネズエラ外貨管理委員会によると、2012年1月から11月までの外貨割当額は、合計236億5,300万ドルとなり、内訳は、それぞれ通常の輸入向けが166億8,200万ドル、ALADI向けが46億7,700万ドル、SUCRE向けが22億9,300万ドルであった。

(15日付 エル・ユニベルサル紙)

・2012年通年での外貨割当額

ベネズエラ外貨管理委員会(CADIVI)によると、2012年外貨割当は前年に比し5%増の330億ドル、内機械や製品の輸入に当てられた額は前年に比し1.5%増の257億5,000万ドルとなった。

なお、SITMEを通じた外貨割当は94億3,956万ドルとなり、CADIVIとSITMEを通じた民間セクターへの外貨割当額は前年に比し3%増の351億8,956万ドルとなった。

(29日付エル・ユニベルサル紙, エル・ナシオナル紙)

イ 11月SITME発給額

11月のSITME発給額は、前月に比し51%減の4億5,400万ドルであった。

(4日付 エル・ユニベルサル紙)

ウ 2012年外貨発給額

中央銀行(BCV)によると、2012年1月1日から12月14日までのCADIVI及びSITMEを通じた外貨発給額は423億3,200万ドルとなった。

(30日付ウルティマス・ノティシアス紙)